

---

## まえがき

---

この本を手にしてくださった皆さまに、まずはお礼を申し上げます。

有名な作家の面白い小説でもなく、経済的な豊かさを実現する物語もなく、自己啓発本のような高尚な理論展開もなく……。

ごくごくありふれた、どこにでもいる中年のおじさんの、心の変遷をつづつたこの本を手にしていただいた……。

その意味のわからない好奇心と、無意識の中にあるあなた自身の声を聞いたという勇氣に拍手を送りたい気分です。

先にも述べたように、この本に書かれていることは、我が家に起きた「離婚」という誰にでも起こり得る現実を通して、私の心の成長を才筆の出来得る限りリアルに表現したものです。

周りの人たちは、「不思議」と言います。

今私は、離婚した元妻と、元妻の再婚相手、そして私と元妻との間に生まれた娘、元妻の両親という6人の家族で一つ屋根の下に暮らしています。本当に、幸せに暮らしています。なぜ、そのようなことになったのか？

私の中でどのようなことが起きたのか？

そして、その結果というか……延長として周りの人にも影響が起きはじめています。

後半を書いてくれている、私の実の姉にその部分をお願いしています。

私には姉に起きていることが、単に私たち家族の中で納まらない世界に広がっていくもの……。

そのように感じています。

ですが、皆さまに言っておきたいことがあります。私は決して特別な存在ではありません。せん……。

すべてにおいて。そしてこの本に書いたことは、あくまでも私に当てはまるものであり、まったく同じことは、あなたには当てはまりません。

それは皆さまざまそれぞれの、心のバックボーンが違うということ……。

しかし、すべての人に当てはまることはありません。

それは自分は自分で変えられるということです。

人は絶対に変えられません……。

しかし自分自身は自分が決めれば変われるのです……。

中浦 伸二